

「松本地域活性化サロン」の開催

地域活性化への貢献を企図し、地域のオピニオンリーダーである企業経営者等と直面している様々な課題について意見交換を行う「長野活性化サロン」を開催。こうした中、長野県全体の地域活性化に貢献していくためには、より広域的に意見を聴取していく必要。そこで、県庁所在地の長野市に加え、長野県人口第2の都市である松本市においても、周辺地域の企業経営者等をメンバーとし、継続的に開催。

概要

◆長野県におけるこれまでの活性化サロンの取組

平成28年から長野市において、計6回「長野活性化サロン」を開催。開催の都度、参加者からアンケートをとり、企業経営者等が認識しているタイムリーな課題をテーマに設定し、問題認識の共有とともに課題解決に向けて議論を深める場として活用してきた。

◆松本市での開催

従来の長野活性化サロンが北信地域の企業中心であったことから、長野県全体の地域活性化に貢献していくためには、より広域的に意見を聴取していく必要性を認識。



長野県全体の地域の活性化に貢献するため県内第2位の商圏であるとともに、製造品出荷額は県内第3位と、県内有数の経済都市である松本市において、開催（「**松本地域活性化サロン**」）。

（長野県産業労働部「長野県商圏調査」、経済産業省「工業統計調査」参照）

取組の成果と今後の展開

◆平成30年3月13日(火)

松本市において周辺地域の企業経営者等をメンバーとした第1回「松本地域活性化サロン」を開催。

【基調講演】

講師：一般財団法人長野経済研究所 小澤吉則氏

テーマ：『松本市の産業と今後を考える』

【意見交換】

参加者及び基調講演講師と、松本市周辺地域の産業や観光にかかる課題のほか、今後の展望について、意見交換を実施。

【参加者からの声】

「人材不足等が自社の大きな課題であり、当社としても社員のモチベーション向上に取り組んでいるが、本サロンにおいて社員を大事にする会社作り等課題解決のヒントを聞くことができ、大変参考になった。」



松本市においても、今後継続的に開催していく予定であり、長野市及び松本市でのサロン開催を通じて、長野県全体の地域活性化に貢献。